

東村山市行財政改革審議会の傍聴に関する定め

第1 目的

この定めは、東村山市附属機関等の会議の公開に関する指針第5第4項の規定に基づき、東村山市行財政改革審議会の会議（以下「会議」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2 傍聴者の決定等

- 1 傍聴者の定員は10人以内とする。ただし、10人以上の傍聴が可能と会長が認めるときは、この限りでない。
- 2 傍聴希望者数が定員（前項ただし書の規定により会長が定員を超えて傍聴を認めたときは、当該認めた人数）を超える場合は、先着順により傍聴者を決定する。
- 3 傍聴希望者は、会場入口の受付において自己の住所・氏名を記入し、事務局職員の指示に従って着席しなければならない。
- 4 会長は、当該会議の全部又は一部を非公開とすることが適当であると判断したときは、当該会議に諮り、東村山市行財政改革審議会条例（平成8年東村山市条例9号）第6条第4項の規定により、出席委員の過半数で決するものとし、可否同数のときは会長の決するところによるものとする。

第3 傍聴することができない者

次の者は、傍聴席に入場することができない。

- (1) 決定した傍聴者以外の者
- (2) 危険物を所持している者、酒気を帯びている者、その他審議を妨害し又は他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者

第4 傍聴者の遵守事項

傍聴者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議開催中は静粛に傍聴することとし、拍手その他の方法により公然と賛否を表明してはならない。
- (2) 会議の秩序を乱し、又は審議の妨害になるような行為をしてはならない。
- (3) 会場内で飲酒、食事及び喫煙をしてはならない。
- (4) 会場内で写真撮影、録画及び録音をしてはならない。
- (5) 会場内で携帯電話等の無線機器を使用してはならない。
- (6) 傍聴により知り得た発言委員氏名を、インターネットや広報誌等で公表してはならない。

第5 秩序の維持

- 1 会長は、会議の円滑な運営を図るため、傍聴者に必要な指示をし、又は事務局

職員に指示させることができる。

- 2 会長は、前項の指示に傍聴者が従わないときは、当該傍聴者を退場させることができる。

第6 部会への準用

第2から第5までの規定は、東村山市行財政改革審議会の部会について準用する。

附 則

この定めは、平成22年7月20日の会議において決定し、同日から施行する。